



平成31年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年8月6日

上場会社名 豊和工業株式会社
 コード番号 6203 URL <http://www.howa.co.jp/>

上場取引所 東名

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚本 高広

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務部門長 (氏名) 石原 啓充

TEL 052-408-1001

四半期報告書提出予定日 平成30年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第1四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第1四半期	5,083	19.1	157		207		183	
30年3月期第1四半期	4,269	0.6	99		59		67	

(注) 包括利益 31年3月期第1四半期 32百万円 (28.5%) 30年3月期第1四半期 25百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第1四半期	14.64	
30年3月期第1四半期	5.39	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第1四半期	24,154	14,678	60.7	1,171.81
30年3月期	24,205	14,895	61.5	1,189.13

(参考) 自己資本 31年3月期第1四半期 14,666百万円 30年3月期 14,883百万円

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度に係る数値等については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値等となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		20.00	20.00
31年3月期					
31年3月期(予想)		0.00		20.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,900	18.5	290		340		280		22.37
通期	22,600	16.1	700		780		670		53.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期1Q	12,548,134 株	30年3月期	12,548,134 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

31年3月期1Q	31,866 株	30年3月期	31,854 株
----------	----------	--------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

31年3月期1Q	12,516,273 株	30年3月期1Q	12,516,950 株
----------	--------------	----------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善が進み、緩やかな回復基調で推移いたしました。米国の保護主義的な政策による影響が懸念され、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の下で、当社グループは、積極的な受注活動の展開、収益性の向上を目指した改善活動、効率的な生産体制の構築を進めてまいりました結果、当第1四半期の連結売上高は、工作機械、建材などが増加したため、前年同四半期に比べ19.1%増の5,083百万円となりました。利益については、工作機械が増収や採算の改善などにより黒字となったため、157百万円の営業利益（前年同四半期は99百万円の営業損失）となりました。営業外収益で受取配当金などを計上した結果、207百万円の経常利益（前年同四半期は59百万円の経常損失）、183百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益（前年同四半期は67百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末の総資産は、24,154百万円となり、前連結会計年度末に比べ50百万円減少しました。これは、主として流動資産のその他の減少857百万円と現金及び預金の増加188百万円、商品及び製品の増加151百万円、仕掛品の増加442百万円によるものであります。

負債合計は、9,476百万円となり、前連結会計年度末に比べ166百万円増加しました。これは、主として買掛金の増加416百万円と短期借入金の減少122百万円、賞与引当金の減少139百万円によるものであります。

純資産合計は、14,678百万円となり、前連結会計年度末に比べ217百万円減少しました。これは、主として利益剰余金の減少67百万円、その他有価証券評価差額金の減少136百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成31年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、現時点では平成30年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,685	2,873
受取手形及び売掛金	6,304	6,420
電子記録債権	1,653	1,690
有価証券	20	20
商品及び製品	90	241
仕掛品	3,623	4,065
原材料及び貯蔵品	334	349
その他	1,090	233
貸倒引当金	△5	△8
流動資産合計	15,798	15,885
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,320	2,334
その他(純額)	1,686	1,718
有形固定資産合計	4,006	4,053
無形固定資産	80	132
投資その他の資産		
投資有価証券	3,727	3,533
その他	642	599
貸倒引当金	△50	△50
投資その他の資産合計	4,319	4,082
固定資産合計	8,407	8,268
資産合計	24,205	24,154
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,738	3,155
短期借入金	821	698
未払金	110	74
未払費用	766	990
未払法人税等	114	33
未払消費税等	20	20
賞与引当金	285	146
工事損失引当金	46	25
環境安全対策引当金	390	390
その他	336	346
流動負債合計	5,630	5,881

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成30年6月30日)
固定負債		
長期借入金	773	772
繰延税金負債	545	489
環境安全対策引当金	80	80
退職給付に係る負債	1,850	1,834
資産除去債務	86	86
その他	342	330
固定負債合計	3,678	3,594
負債合計	9,309	9,476
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,019	9,019
利益剰余金	4,325	4,258
自己株式	△28	△28
株主資本合計	13,316	13,249
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,281	1,145
繰延ヘッジ損益	△0	△1
為替換算調整勘定	109	107
退職給付に係る調整累計額	175	166
その他の包括利益累計額合計	1,566	1,417
非支配株主持分	12	11
純資産合計	14,895	14,678
負債純資産合計	24,205	24,154

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年6月30日)
売上高	4,269	5,083
売上原価	3,589	4,170
売上総利益	679	913
販売費及び一般管理費	779	755
営業利益又は営業損失(△)	△99	157
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	58	61
雑収入	13	14
営業外収益合計	73	76
営業外費用		
支払利息	1	1
遊休資産維持管理費用	5	6
為替差損	9	2
雑損失	16	17
営業外費用合計	33	27
経常利益又は経常損失(△)	△59	207
特別利益		
固定資産売却益	0	2
その他	0	—
特別利益合計	0	2
特別損失		
その他	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△59	209
法人税等	7	26
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△66	182
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	1	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△67	183

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△66	182
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	97	△136
繰延ヘッジ損益	△1	△1
為替換算調整勘定	△4	△2
退職給付に係る調整額	0	△9
その他の包括利益合計	91	△149
四半期包括利益	25	32
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	24	33
非支配株主に係る四半期包括利益	1	△0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合 計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (注) 3
	工作機械 関連	火 器	特装車両	建 材	不動産 賃貸	国内販売 子会社	計				
売上高											
外部顧客への 売上高	2,139	563	396	336	111	500	4,047	221	4,269	—	4,269
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	113	0	5	—	2	49	170	122	293	△293	—
計	2,253	563	401	336	113	549	4,218	343	4,562	△293	4,269
セグメント利益 又は損失(△)	△75	△51	△1	△78	94	6	△105	8	△97	△2	△99

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社中日運送(株)等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等△2百万円であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成30年4月1日至平成30年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	合 計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書 計上額 (注) 3
	工作機械 関連	火 器	特装車両	建 材	不動産 賃貸	国内販売 子会社	計				
売上高											
外部顧客への 売上高	2,600	643	334	491	99	625	4,793	289	5,083	—	5,083
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	120	1	2	0	2	80	208	153	362	△362	—
計	2,721	644	337	491	101	705	5,002	443	5,445	△362	5,083
セグメント利益 又は損失(△)	156	△31	△24	△68	81	26	139	17	157	0	157

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社中日運送(株)等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去等0百万円であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「特装車両」セグメントにおいて、株式会社セキュリコの株式取得に伴い、当第1四半期連結会計年度より、同社を連結の範囲に含めております。これに伴うのれんの増加額は35百万円であります。